

令和5年度

横浜市立田奈小学校

令和5年8月28日



# 学校だより 8・9月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

たくましく生きる人 なかよく生きる人



150周年キャラクター  
もち TaNa くん

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>

## とても暑くて濃い2023年の夏 ～今ここで生活していることを大切に～

校長 大原 敦子

猛暑、台風、自然災害、地球沸騰化、4年ぶりのお祭り、花火大会、声出し OK の応援やフェス、数々のスポーツでの日本人の活躍。甲子園では「青春ってすごく密なので」の仙台育英と神奈川県代表の慶応の決勝戦。慶応の107年ぶりの優勝に沸きました。地域のお祭りでは、にこにこ嬉しそうなおもたの笑顔にたくさん出会うことができ、「そう、この感じ!」と4年ぶりの夏を味わいました。今年の夏はとても暑くて濃い夏に思えました。皆さんの夏は、いかがでしたでしょうか。

我が家でも4年ぶりに旅行に行きました。そのうちの1泊は宮城県南三陸の海の際に立っているホテルに泊まりました。部屋の窓辺にウミネコやカモメが飛んできては柵にとまり、ゆっくりとくつろいでいる姿は、その後ろできらきら光る海と相まって、心の癒しとなりました。そして食事もおいしかった!

夜は、名古屋の高校生・大学生の弦楽器とオーケストラの演奏会。ロビーにはたくさんのお客様が集まり、演奏を楽しみました。このロビーのホールは、2011年3月11日の東日本大震災後には、避難生活やボランティアとの打ち合わせなどに使われていた場所です。そして、今、私の目の前で演奏しているこのコンサートも、震災直後より9年連続でこのホテルのロビーを含め、震災の被害を受けた東北各地を回り、ずっと続けられていたものだそうです。今年はコロナ禍を経て、4年ぶりに再開できたと、高校生が語っていました。そう思うと、このロビーですてきな演奏を楽しんでいる「今」この時間が、とても貴重で有難いものだとしみじみ思いました。

翌日はいくつかの震災遺構を、語り部の方のお話を伺いながら回りました。「ここは、皆さんから見ると、ただの草地に見えると思います。でも、ここには家があって、住んでいる人たちがいて、確かに生活があったのです」という言葉が、ずしっと心に響きました。そして、その場のスタッフの判断で高齢者が全員助かったという「高野会館」という建物を、すぐそばで見ました。4階建ての大きな建物を真下からぐっと見上げた先に「津波浸水深 ここまで」という表示が小さく見えました。ニュースや動画では感じられなかった恐ろしさ(うまく表現できないもの)を感じました。きれいに整備された所に骨組みだけが残っている南三陸防災庁舎もありました。そこに、確かに生活していた人々について、現地で、語り部の方から話を伺えたことは私にとって、大変貴重な体験となり、多くのことをそこから感じ取りました。

いつでも、どんな場所でも、どんな時代でも、そのときの「今」をそこで一生懸命に生活している人々で、過去も今もこの先の未来もつくられています。この夏、私が体験し感じたことを、今まさに150周年の田奈小学校で日々生活している子どもたちに対して、どうやって還元していこうかを、じっくりと考えていきます。この文章を読まれて辛い思いをさせてしまった方がいらっしゃるかもしれません。申し訳ございません。教育に携わるものとして、自分にできることを精一杯行います。

残暑が大変厳しいですが、夏休み明けもどうぞよろしくお願いいたします。

### お知らせ・お願い

○今年は例年よりも残暑が厳しいです。登下校の際、マスクを取ること・水筒の中身を多めに用意して水分補給をこまめすること、首にかける冷却タオル等も適切に活用することなどの熱中症対策を家庭でもお子様にお声かけいただくと幸いです。

○お子様の健康観察をよろしくお願いいたします。

夏休み明けは暑さや生活リズムの関係で体調を崩しがちです。いつもと体調が異なるときには、無理に登校をさせず健康観察をお願いします。熱中症のリスクも高いので、ご協力をお願いいたします。

